

## 第一号議案

### I 令和6年度事業報告

#### 1. 1年間の実施活動

##### 5月27日 令和6年度第1回理事会

電磁的方式にて開催。令和5年度事業報告、決算報告及び監査報告承認の件や令和6年度事業計画及び収支予算書報告の件などを書面決議にて実施・承認した。

##### 6月1日 令和6年度定時総会

千代田区立九段生涯学習館にてハイブリッド方式で開催。15名（対面:14名、リモート:1名）が出席し、令和5年度事業報告、決算報告及び監査報告承認の件や令和6年度事業計画及び収支予算書報告の件などを審議し、全ての議案の賛成を得て承認された。

##### 同日 令和6年度第2回理事会

総会に引き続いて開催。12名の理事・監事が出席し、職務分担について審議・承認した。

##### 6月7日 ラテンアメリカ関連団体連絡会

リモートにて開催され、細萱恵子常務理事が出席し情報交換を行った。

##### 6月25日 ラテンアメリカ協会定時総会

対面・リモート方式にて開催され、上崎雅也常務理事が出席した。

##### 8月3～31日 当協会会員・写真家松井章氏の写真展 「ボリビア：東部オリエンテ地方と日本人移住地」

麹町の Instituto Cervantes で開催。28日には、同会場にて駐日ボリビア大使館主催で、「日本人移住がボリビアの発展に与えた影響」についての対話セッションが開催され、ボリビアからの日系人留学生3名と元ラパス日本人会会長、外務省南米課長、JICA中南米部長等の関係者の参加を得た。

##### 8月17日 オキナワ移住地入植70周年記念式典

大川裕司常務理事が出席。式典に先立ち慰霊祭が行われ、参加者各位は黙とう、焼香で移住地の苦難の歴史や先達の功績に思いを寄せた。

##### 8月20日 ボリビア大使館訪問

椿秀洋会長と上崎雅也常務理事が芝公園のボリビア大使館を訪問し、ナタリア・サラサール臨時代理大使と情報交換を行った。

##### 9月6日 ラテンアメリカ関連団体連絡会

リモートにて開催され、上崎雅也常務理事が出席し情報交換を行った。

#### 9月17日 日本・ボリビア外交関係樹立110周年及び日本人のボリビア移住125周年の記念切手発行

記念切手のモチーフとなった写真は、当協会会員でもある風景写真家の松井章氏が撮影したもので、現地を訪れた様子などを当協会会報誌「カントウータ」にも寄稿いただいた。

#### 9月21日 和洋九段女子中学校への出前講義

椿秀洋会長が1年生全員70名を対象にボリビアについての講演を実施した。同校では、文化祭に向けて各クラスで興味のある国を調べていたところ、或るクラスでウユニ塩湖の美しい風景に生徒たちが関心を寄せ、ボリビアについて調べようという事になり、担任の先生から協力の要請を受けたもの。講演は90分間と中学生には長めながら、皆、メモを取りながら熱心に聴いていただいた。

#### 10月27日 「南米料理を楽しむ会」

千代田区立スポーツ・センターにて開催。日系ボリビア人夫妻を講師に迎え、21名の参加者と共にオリエンテ地方の伝統的家庭料理のマハディート・デ・チャルケとアサディート・コロラドの調理に挑戦し、シンガニやワインと併せながら、食事と懇談を楽しんだ。

#### 12月6日 ラテンアメリカ関連団体連絡会&懇親会

対面にて開催され、細萱恵子常務理事が出席し情報交換を行った。二国間団体の会員の高齢化問題、及び従来その国に駐在していたなどの経験から会員として入会していただいたが、現在そのような会員数が減少しつつあり、料理、音楽、民族衣装などの文化に興味を持つ人が会員になってくれる傾向が強まっている。文化イベントの開催が協会を周知させるためには必要である、との各協会の認識であった。

#### 12月20日 年末交流会（講演会+懇親会）

2024年は日本・ボリビア外交関係樹立110周年及び日本人のボリビア移住125周年に当たり、駐日ボリビア大使館 ナタリア・サラサール臨時代理大使と、外務省中南米局 塚本康弘南米課長にご講演いただいた、引き続き、懇親会を実施した。

#### 2025年1月24日 ラテンアメリカ協会主催日本ボリビア協会後援 JICA 中南米2所長報告会（Zoom）

JICA ボリビア所長伊藤圭介氏と JICA コロンビア所長佐藤洋史氏による2国の政治経済状況と JICA で実施されている援助事業についての講演があり、同講演を後援するとともに椿秀洋会長及び細萱恵子常務理事が出席した。

#### 2月2日 多古町ラテンミュージックフェスタ

千葉県多古町で開催された第三回ラテンミュージックフェスタに森下鉄夫副会長夫妻、吉田憲司常務理

事、大川裕司常務理事が出席し、参加者へ協会の紹介を行った。当日は駐日ボリビア大使館 ナタリア・サラサール臨時代理大使と外務省中南米局 塚本康弘南米課長の挨拶に始まり、ボリビアの音楽やダンスと共に、千葉県とゆかりのあるメキシコやパラグアイの音楽も披露された。

## 2月8日 在京ボリビア多民族共和国大使館主催：ボリビア独立200周年記念コンサート

港区赤坂区民センターホールで駐日ボリビア大使館主催の『ボリビア独立200周年記念フォルクローレコンサート』が実施され、椿秀洋会長夫妻が出席した。同コンサートは来日中のフォルクローレグループのEl Sikuriの演奏で実施され、東京大学民族音楽愛好会とつくば大学フォルクローレ愛好会のメンバーが賛助出演した。

## 2月26日 ラテンアメリカ協会主催：ラテンアメリカ・サロン

19時～21時、三菱クラブ（三菱ビルディング21F）において、昨年に引き続き、中南米大使会議に合わせ、各国大使、法人会員などが集まり、懇親会を実施。椿秀洋会長及び細萱恵子常務理事が参加した。

## 3月1日 WEB茶話会：オンライン・シネマトーク

ゲストに太田昌国さんを迎えて、オンラインにてトークイベントを開催した。当日は50人ほどの参加者をえて、4月より始まるボリビアの映画製作集団ウカマウの上映会の話しや、それに向けたクラウドファンディングのお話をお聞きし、ボリビアの映画について多くの方に知っていただく機会となった。

同日 執行部会 令和7年度の事業計画、予算案、会員管理等について検討を加えた。

## 3月7日 ラテンアメリカ協会二国間関連団体協議会開催

上崎雅也常務理事がオンラインで参加し会報誌「カントゥータ」の発行及び上述の12月から3月1日までのイベントについて実施報告を行った。他の複数の二国間関連団体から高齢化に伴い、会員数が年々減少しつつある事態への懸念が披露された。当協会も連絡が取れない或いは会費納入が滞っている会員等の整理作業中であり、同様の問題提起を行った。

## 3月10日 ウカマウ新作映画試写会

「ボリビア独立200周年/日本との協働50周年記念」と銘打って4月26日から5月23日まで新宿K's cinemaで上映される「ウカマウ集団60年の全軌跡」に先立って新作2作品（「女性ゲリラ、フアナの戦い -ボリビア独立秘史-」「30年後～ふたりのボリビア兵」）の試写会が行われ、椿秀洋会長、森下鉄夫副会長及び永井和夫常務理事が出席した。

## 3月29日 令和6年第3回理事会

令和6年度事業報告案、収支決算報告案及び令和7年度事業計画案、収支予算案を報告及び承認した。

## 2. 広報活動

### (1) 会報誌「カントウータ」の発行

56号(2024年6月)、57号(同9月)、58号(同12月)、59号(2025年3月)と4回発行した。会員全員へ冊子版を送付するとともに、ラテンアメリカ二国間協議会のメンバー会員組織、IDB、JICA 中南米課及び国内外のボリビア関係団体へもメール版または冊子を配布した。協会ホームページでも随時見ることができるようにアップロードしている。渡邊英樹相談役の著書「ボリビア開拓記外伝」は琉球新報社のご協力で Kantuta に連載中であるが、特に在ボリビア・在日の日系人が読みやすいように全漢字ルビ付きで発行していて、日系の方に大変好評である。

なお、当協会会報誌「カントウータ」はボリビアの国花であるカントウータにちなんで名付けられたものである。カントウータ(学名 *Cantua Buxifolia*)は、アンデス高地で見られる顕花植物で、細長い管状の花には、一色のもの(赤やピンク、黄色)の他、「三色カントウータ *La Kantuta tricolor*」として知られる種があり、これは赤い花びら、黄色い花筒、緑の萼を持ち、ボリビア国旗の赤・黄・緑を思わせることから、高地を代表する国花となっている。

ペルー他のアンデス地域ではカントウータを *Cantuta* と表記しているが、ボリビアではアイマラ語、ケチュア語で *Kantuta* がオフィシャルな表記とされており、2009年に制定された現行の憲法第6条2項において、国花を *kantuta* と定めていることから、これまで「*Cantuta*」と表記していた会報誌のタイトルを今般「*Kantuta*」と改めることとした。

### (2) ホームページ・SNSの運営

ホームページは随時更新し、充実を図っている。2024年の新年交流会のフォルクローレ演奏などの動画もアップロードした。2022年5月の定時総会で承認されたSNS運用方針に沿って、当協会公式アカウントでFacebook、X(旧Twitter)、Instagramの運用を開始し、アクセスも徐々に増加しつつある。ボリビアと日本を繋ぐ企業・団体情報もHPにて紹介し、それぞれの活動やその想いを知ることができるようになっている。

## 3. 協会が主催するイベント事業活動

### (1) 南米料理を楽しむ会の開催

2024年10月27日(土)千代田区スポーツ・センター7階調理教室において、午後1時から4時半まで「南米料理を楽しむ会」が開催された。今年度は日系ボリビア人ご夫妻(玉城俊幸さんご夫妻)のご指導により、料理指導を行っていただいた。料理は昨年度コチャバンバの伝統的料理を取り上げたが、今年度はオリエンテの料理で、サンタクルス駐在の方々が一番懐かしい料理として名前が挙がる、マハディート・デ・シャルケ(Mahadito de charque)とアサディート・コロラド(Asadito Colorado)に挑戦した。参加者は21名で、各グループに分かれて協力し合いながら調理を

し、無事時間内に出来上がり、それぞれ懇談しながらボリビア料理を堪能した。また維持会員のマックス建材株式会社さんより提供されたシンガニとボリビアワインをいただき、盛会のうちに終了した。

ラテンアメリカ協会イベント情報へのアップロードや、ラテンアメリカ二国間協議会のご協力で広く周知をいただき、会員のみならず、二国間協議会の皆様など多くの非会員にもご参加いただいた。

## (2) 年末交流会（講演と懇親会）の開催

12月20日（土）銀座「Salon de Juliet サロンドジュリエ」にて協会交流会を開催した。2024年は日本・ボリビア外交関係樹立110周年及び日本人のボリビア移住125周年に当たり、駐日ボリビア大使館 ナタリア・サラサール臨時代理大使と、外務省中南米局 塚本康弘南米課長に周年記念としてご講演いただいた。

引き続き、最近発足した JICA ボリビア OV 会より団体紹介が行われた後、懇親会に移行。昨年度に引き続き、今年2名から3名へとパワーアップしたフォルクローレグループ「カパック・ニャン（Qhapaq Ñan）」（当協会会員）によるラテンアメリカ音楽を楽しみながら、ビッフェ形式の会食にて40名ほどの参加者の親睦を深め、ボリビアの一日を楽しんだ。

## (3) WEB 茶話会：オンライン・シネマトーク

シネマトークインディアスの太田さんを中心に、ボリビアの映画制作集団ウカマウのこれまでの作品に新たに2作品を加えて一挙上映することを企画しておられるとの情報に接してトークイベントを企画した。タイトルは「ウカマウ集団の特集上映会と新作の見どころ」と題し、ゲストに太田昌国さんを迎えて、オンラインにてお話を伺った。当日は40名ほどの参加者をえて、4月より始まるボリビアの映画制作集団ウカマウの上映会の話しや、それに向けたクラウドファンディングのお話をお聞きし、ボリビアの映画について多くの方に知っていただく機会となった。

## (4) 中学校への出前講義の実施

9月21日 和洋九段女子中学校への出前講義

椿秀洋会長が1年生全員70名を対象にボリビアについての講演を実施した。同校では、文化祭に向けて各クラスで興味のある国を調べていたところ、或るクラスでウユニ塩湖の美しい風景に生徒たちが関心を寄せ、ボリビアについて調べようという事になり、担任の先生から協力の要請を受けたもの。講演は90分間と中学生には長めながら、皆、メモを取りながら熱心に聴いていただいた。

#### 4. 関係諸団体との連携協力促進

駐日ボリビア多民族国大使館、在日ボリビア人、移住帰国者などと連携し、各コミュニティの文化・交流イベントを通じ積極的に交流を深めた。

具体例： 駐日ボリビア多民族国大使館主催の行事、在日ボリビア人、ボリビア関連支援団体が開催する行事（千葉県多古町まちづくり機構によるラテンミュージックフェスタなどへの参加）。

ラテンアメリカ関連団体連絡会を通し、中南米の各二国間友好団体との情報共有を密に行い、会員へは他協会のイベントなどのご案内を行うと同時に、当協会の主催事業や駐日ボリビア多民族国大使館、JICA などのイベント情報を関連する友好団体へも周知を行い、会員のみならず、多くの参加者を得ることができた。

#### 5. マスコミ・メディアなど外部団体からのボリビア関係問い合わせへの協力

4月22日 会員からサンファン日本ボリビア協会の連絡先の照会があり、椿秀洋会長が専務理事を務める海外日系人協会を通じて入手した連絡先を回答した。

5月21日 物流会社からボリビアへの中古タイヤの輸出についてボリビアの関連会社や輸入業者についての照会があり、現地関係者に情報提供を求めたが、色よい回答は得られなかったため、JICA 民間連携事業部計画・連携企画課が中南米・カリブ地域へのビジネス進出を検討している企業と進出済みの企業を対象に企画していたビジネス交流会を紹介した。

7月1日 当協会機関誌『カントゥータ』第30号に記載されていた記事を目にした読者から音楽家の故鈴木夕美子が発売していたCD2枚を入手したいとの照会があった。

7月20日 7名でペルー・ボリビアに旅行したいが現地情勢に明るい旅行社を紹介して欲しいとの照会があり、当協会賛助会員であるラティーノ社を紹介し、ラティーノ社も快諾した。

8月1日 (株)月虹舎からボリビアの文化に関心があるとして当協会機関誌『カントゥータ』の第46号から50号に原稿を転載させて頂いた高橋慎一郎氏の著書『チャスキ ～ボリビア 土の建築奔走記～』を入手したいとの照会があり、同社と高橋氏の間を取り持った。同社からは無事に著書を入手できたとして御礼の言葉が寄せられた。

10月22日 NPO 法人「世界の国旗国歌研究協会」共同代表より、ボリビアの国旗およびウィパラについて憲法の条文および邦訳の存在について照会があったが、先方に誤解もあったのでこれを正すとともに邦訳を付して回答した。

10月22日 秋田書店『週刊少年チャンピオン』編集部より、ボリビアの樹液に集まる虫の種類についてサタンオオカブトが集まる樹液のある木にはどんな虫が集まるのかとの照会があったが当協会には知見がなかったので、現地で活動していた元青年協力隊の知人を紹介することとした。

12月13日 旅行ライターより月刊誌『チャンネルガイド』の旅コラムにウユニ塩湖の紹介文を書いたが内容に問題ないかとの照会があり、適宜対応した。

12月13日 静岡県立大学大学院生からサンフアンへの移民について調査研究するためにサンフアン移住地を訪問したいとして現地情勢についてアドバイスを求めてきたので、訪問時期の適否を含め治安情勢等を適宜アドバイスの上、JICA 移住資料館や渡邊英樹氏の著書『ボリビア開拓記外伝』も紹介した。

12月14日 理学療法士より1月23～26日にサンフアン移住地を訪れたいが高齢者施設(デイサービスなど)を見学できるかとの照会があったが、照会宛先がサンフアン日本ボリビア協会宛となっていたので、同協会のアドレスを紹介した。

1月6日 NHK「4K プレミアムカフェ」の担当者より今年のオルロのカーニバルの日程について照会があったので、現地に確認の上、本年の日程を回答の上、同カーニバルの公式HPを紹介した。

その他、本年度はNPO法人や一般社団法人、一般財団法人、民間企業等から勧誘のメールが例年よりはるかに多く寄せられた。

## II 令和6年度予算執行状況

年間収支計算書

### 令和6(2024)年度収支計算書

一般社団法人 日本ポリビア協会

令和7年3月31日

収入の部

(令和6年4月1日-令和7年3月31日 単位:円)

科目	年度予算	年度実績	予算・実績差額 (予算額 - 実績額)	予算 達成率	実績額についての備考
会費収入	1,102,000	1,059,000	-43,000	96.1%	個人・維持会員 合計
個人会員	352,000	309,000	-43,000	87.8%	新会員含め53名納入(定額以上含む)
維持会員	750,000	750,000	0	100.0%	6団体全納(定額以上含む)
事業収入	175,000	123,000	-52,000	70.3%	2イベント参加費
雑収入	50	2,145	2,095	4290.0%	口座利息:利率増のため
収入合計	1,277,050	1,184,145	-92,905	92.7%	
前期繰越金	4,068,184	4,068,184			

支出の部

科目	年度予算	年間実績	予算・実績差額 (予算額 - 実績額)	予算 消化率	実績額についての備考
<b>1. 管理費</b>					
通信運搬費 他	25,000	3,029	21,971	12.1%	総会関連郵送費・
交通費	10,000	0	10,000	0.0%	事務局経費
事務管理費等	120,000	108,351	11,649	90.3%	登記 理事会・総会等会議費用 他
雑費他	10,000	543	9,457	5.4%	会議茶代
管理費合計	165,000	111,923	53,077	67.8%	
<b>2. 事業費</b>					
イベント開催費	440,000	356,924	83,076	81.1%	南米料理会、年末交流会、オンライン茶話会
友好親善費	150,000	40,000	110,000	26.7%	他団体行事への参加費用・加入団体会費等
ホームページ維持管理費	90,000	87,520	2,480	97.2%	HPメンテナンス作業費、HPサーバー使用料、ドメイン更新料
コンテンツ発行費	160,000	174,030	-14,030	108.8%	年間4回発行(値上等)
事業費合計	840,000	658,474	181,526	78.4%	
<b>3. 予備費</b>					
	100,000	0	100,000	0.0%	
支出合計	1,105,000	770,397	334,603	69.7%	
次期繰越金	4,240,234	4,481,932	241,698	105.7%	

OK

OK

OK

財産額 令和7年3月31日(単位:円)

三菱UFJ銀行	4,438,498
ゆうちょ銀行	43,434
現金	0
合計	4,481,932

OK

### III 監査報告書

#### 令和6年(2024年)度監査報告書

一般社団法人 日本ポリビア協会

会長 梅 秀洋 殿

私たち監事は、当協会の令和6年(2024年)4月1日から令和7年(2025年)3月31日まで令和6年度(2024年度)における日本ポリビア協会の活動について監査を行いました。その結果を一般社団法人及び、一般財団法人に関する法律99条第1項(一般社団法人、及び一般財団法人に関する法律197条において準用する同法99条第1項)及び、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第36条及び第45条(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則64条において準用する同規則36条及び45条)の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告します。

#### 1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事からその職務について報告を受け、重要な決裁書類を閲覧し、当協会の業務及び財産の状況について調査しました。

上記の方法により、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

#### 2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当協会の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録などの監査  
計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当協会の財産及び損益の状況を全て重要な点について適正に表示しているものとも認めます。

令和7年(2025年)4月17日

監事 小林 正博 

監事 黒澤 啓 

## I 令和7年度事業計画

### 基本方針

前年度に引き続き、外務省、駐日ボリビア多民族国大使館、一般社団法人ラテンアメリカ協会など関係機関・組織及び在日ボリビア人団体、ボリビアと関係が深い民間企業、当協会会員、在日ボリビア人関係者と連携を図り、当協会の目的であるボリビアとの友好関係を維持・発展させるために必要な活動を以下の基本方針により実施する。

- ① ホームページ、SNS、会報等の広報活動を通じて会員とボリビアに関心を寄せる一般個人の活動への参加を促進する。またボリビアに関心を抱く中学や高校への出張講座を働きかける。
- ② 協会の自主企画イベントの開催により広くボリビアを知ってもらう機会を設ける。
- ③ 日ボ両国の政府・民間企業・団体による政治・経済・社会・文化の各分野での活動及び他のラテンアメリカの交流団体との文化交流活動を通じて、これまで以上に両国関係者・団体の相互理解と友好親善を積極的に促進し、当協会の使命である民間における両国関係の発展・強化・促進を目指す。

### 1 広報活動

#### (1) 会報誌「カントウータ」の発行

「ボリビアと日本を繋ぐ企業・団体情報」をシリーズとして、ボリビアに関連する企業や団体の取り組みを取り上げていく。ボリビアの政治・経済・社会・文化に関するホットなニュースや学術研究情報を収集する体制を整備するとともに、寄稿者を広く募集する。

#### (2) ホームページ、SNSを活用した発信力の強化

協会において収集整備した情報を速やかに、HPを通じて公開する。SNS(X(旧Twitter)、Facebook、Instagram)の日本ボリビア協会公式アカウントを通じた発信を行う。会員のみならず、広く一般個人・企業・団体へ訴求できるようにし、日本ボリビア協会の認知を高め、興味のある人々、企業の参加を促進できるようにする。

### 2. 協会のイベント事業活動

#### (1) 年末交流会

会員相互の親睦を深め、また、会員に対しボリビアに関するアドホックな情報提供を目的として新年交流会もしくは年末交流会を引き続き開催する。

#### (2) 南米料理を楽しむ会

南米(ボリビア等)料理を作ってみる、食べてみる、ことでボリビアに親しむ会。会員同士の親睦

になると同時に、一般の料理に興味を持つ方、中南米文化に興味を持つ方に参加してもらい、協会を広く認知してもらうことを目的とする。

### (3) オンライン・トークイベント

遠方に住む会員や非会員にも気軽にイベントに参加していただける機会を設けるため Zoom 等を利用して、ボリビアに関するオンライン・トークイベントを行う。今年度の内容は、ボリビアに住む日本人や日系人、ボリビアに見識の深い日本在住の会員らに歴史、社会経済、文化などのテーマを決め、講演をお願いし、ホットなボリビア情報の提供や会員同士の情報交換を予定している。

### (4) 映画会

ボリビア独立 200 周年を記念したウカマウ集団の映画を一挙に放映するプロジェクトに協力し、可能であれば後援名義を付与することも考慮する。また協会でもウカマウ映画の上映会を開催する。

### (5) 中学高校等への出前講座

都内の私立学校を中心にボリビアとはどのような国か知ってもらうよう、出前講座を実施する。差し当たり HP にて広報し、依頼があった場合には理事会役員や青年海外協力隊経験者などに講師を依頼する。

## 3. 対外活動

### (1) 関係諸団体との連携協力

駐日ボリビア多民族国大使館、在日ボリビア人、移住帰国者などと連携し、各コミュニティの文化・交流イベントを通じ積極的に交流を深める。

具体例： 駐日ボリビア大使館主催の行事、在日ボリビア人、ボリビア関連支援団体が開催する行事（川崎市のインターナショナル・フェスティバル、千葉県多古町まちづくり機構によるラテンミュージックフェスタなど）。

ボリビアの政治・経済・文化、日系人などの情報提供と支援体制を日ボ両国の政府機関（大使館・JICA・JETRO）や商工会議所などの協力を得て整備し、希望者に提供・支援する。

### (2) ボリビア関係情報の提供・支援体制の整備充実

当協会役員・会員や関係者のボリビア訪問機会を増やして、ボリビア日系協会連合会とボリビア全国各地の日本人会などの関係組織・団体や、各個人との友好親善関係の維持発展に努めると同時にその活動を支援する。

ボリビア関係情報の提供を通じて、日本のマスコミ・メディアへボリビアに関する PR 広報を働きかけ、日本におけるボリビアの文化・社会・経済・政治への理解や認識の向上を図る必要な活動を実施する。

## II 令和7年度予算書

収入の部				
				(令和7年4月1日～令和8年3月31日 単位：円)
科目	令和6年度 予算	令和6年度 実績	令和7年度予算額	備考
前期繰越金	4,068,184	4,068,184	4,481,932	
会費収入	1,102,000	1,059,000	1,087,000	
個人会員	352,000	309,000	337,000	3000円×83名＝240000円＋88000円個人特別増額支払い
維持会員	750,000	750,000	750,000	30000円×6社＝180000円＋570000円特別増額支払い
事業収入	175,000	123,000	143,000	交流会収入：100000円、料理の会収入：40000円、 トークイベント、映画会：3000円
雑収入	50	2,145	2,500	銀行預金（2口座）利息等
収入合計	1,277,050	1,184,145	1,232,500	
支出の部				
科目	令和6年度 予算	令和6年度 実績	令和7年度予算額	備考
1. 管理費				
通信運搬費 他	25,000	0	10,000	従前からの予算額で対応可能
交通費	10,000	0	200,000	5000円×14名×2回分＝140000円 (総会・理事会への役員交通費定額支払い) ポリビアナショナルデイへの参加20000円×3名分
事務管理費等	120,000	120,311	60,000	Zoom費用2500円×3回分＝7500円 総会議案書郵送分500円×3 人分＝1500円 総会議案書がメール添付に移行するため印刷 費用を節減)
雑費他	10,000	543	10,000	コピー、事務用品、お茶代など
管理費合計	165,000	120,854	280,000	
2. 事業費				
イベント開催費	440,000	352,223	450,000	交流会：6000円×40名＝240000円、フォルクローレ45000円 料理の会2500円×25名＝62500円＋講師代30000円、 トークイベント：謝金10000円、映画会：レンタル代30000円、 出前講座：謝金30000円
友好親善費	150,000	40,000	150,000	ラテンアメリカ協会会費10000円、同会合会費40000円 ウカマウ映画祭クラウドファンディング30000円 ポリビアフェスティバルなどのブース代50000円 その他参加費、入場料など20000円
ホームページ維持管理費	90,000	88,160	90,000	HP更新費用、ドメイン、サーバー支払い
コンピュータ発行費	160,000	186,620	200,000	50000円×4回発行
事業費合計	840,000	667,003	890,000	
3. 予備費	100,000	0	100,000	
支出合計	1,105,000	787,857	1,270,000	
次期繰越金	4,240,234	4,464,472	4,444,432	

第三号議案

会員入退会の報告の件

前年度末（2024年3月31日）

個人会員 86名

維持（法人）会員 6社

前期議決権総数 92（議決権）

当期入会

個人会員 9名

維持（法人）会員 0社

当期退会

個人会員 8名 （定款第10条「会員資格の喪失」において、2年以上会費の支払い義務を履行しな  
かった場合に喪失との規定より退会処理）

維持（法人）会員 0社

当期議決権増減 +1

当年度末（2025年3月31日）

個人会員 87名

維持（法人）会員 6社

当期議決権総数 93（議決権）

名誉会員 木村翰由、嘉手苺義男 2名

以上

\*\*\*\*\*

令和7年度（2025年）会費の納入をお願いします

当協会の活動は会員の皆様方の会費と寄付に支えられております。今後、活動をさらに強化していくためにも、引き続き会員継続と会費の納入をよろしくお願い申し上げます。

**個人会員 年会費 3,000円（以上）**

**維持会員 年会費 30,000円（以上）**

※規定金額以上、おいくらでも結構です。

納入先「振込口座」

三菱UFJ銀行 西新宿支店 普通預金口座 4886040

名義人：一般社団法人 日本ポリビア協会

シャ）ニッポンポリビアキョウカイ

ゆうちょ銀行 記号：10160 番号：79339371

名義人：一般社団法人 日本ポリビア協会

シャ）ニッポンポリビアキョウカイ